						平成2	234	年行政	事業	レビ	ジューシー	- -	<u>(</u> 夕	務省)			
事業名			層を破壊 義務的拠		するモントリオール議定書拠			担当部局庁			国際協力局				作成責任者			
事業開始・ 終了(予定)年度		平成2年					担当課室			地球環境課				課長 杉中 淳				
会計区分				一般	会計			施策	施策名		I-3 国際機	国際機関を通じた地球規模の			諸問題に係る国際貢献			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		外務省設置法第4条第3					関係する通知		•		i	議定書第1	3条1及0	Ĵ2				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)		オゾン層を破壊する恐れのある物質を特定し、当該物質の生産、消費及び貿易の規制を行うことを目的としている。規制対象物質の特定、右物質の削減、非締約国からの規制物質の輸入禁止、開発途上国に対する代替品技術の利用・取得のための援助等の措置を定める等オゾン層保護のための具体的手段を内容とする規制を行う。																
事業概要 (5行程度以内。 別添可)		本議定書は1987年9月16日にモントリオールにおいて開催された全権委員会議で採択され、2010年2月現在195か国及びE Cが加盟している。我が国については、1988年9月30日に受諾書を寄託し、1989年1月1日より発効した。 条約事務局は、各国からの拠出金を通じ、職員18名で主に次の業務を実施。 (1)締約国会合の開催(MOP:年一回)、(2)公開作業部会の開催(OEWG:年一回)、(3)各国のオゾン層破壊物質生産・消費・輸出入量の集計、公表、(4)その他締約国会議が決定する他の任務の遂行。																
実施方法		口直接実施			□業務委託等		口補助			□貸付 ■		■ そ	■その他					
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			11: t= = 15		20年度		21年度			22年度			度	2	4年度要求			
		予算の状況	当初予算			80		73	73		67		48		45			
			O 40+41 M			_					-		_					
				透し 等 計	80			73			67		40		AF			
		\$h 27						73			67		48		45		<u>, </u>	_
		執行額			100%		100%			100%								
成果目標及び成果実績(アウトカム)		執行率(%)			112 IT							2477						
		オゾン層破壊物質削減			指標 				単位	Ī.	20年度	2	:1年度	22年	-	(年度)	
								成果実績	締約国	数	189		189	19	6		196	
					D温室効果ガス削減に		達成度	%								$\overline{\hspace{1em}}$	_	
	h 1==	7,1,2,1,2,1			指標				単位	Ž.	20年度	2	:1年度	22年	度	23年	度活動見辽	Ĺ
活動指標及び 活動実績 (アウトプット) 単位当たり コスト		び遵 世界	守委員会 196力国	会を毎年ー[図のオゾン層	務局は締約国会合及 回開催している。また、 骨破壊物質の生産・消費 に対する指導を行ってい			活動実績 (当初見込 み)	会議 催(回	朔])	2		2	2			2	
		る。	, «, », «, п	· Æ	-,,,,	-v1), 0184511 2 CA		07)						(()
		条約事務局の運営費、人件費等であり事務局 が適切に機能するために使用されている。					算出根拠											
		世 目		23年度当初予算							Ė	主な増	減理由					
平成		裏する物質に関す -ル議定書拠出金		47,617		44,942	!											
2 3																		
単・ 位 2							=											
: 4							\dashv											
円度							\dashv											
算 内							=											
訳	計			47,617	,	44,942	\dashv											

		事業所管部局による点検								
	評価	項目	特記事項							
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。								
状・況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。								
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。								
資金	0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。								
の	0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。								
使れ、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。								
費	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。								
目・	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。								
活動	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。								
実績	0	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。								
•	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。								
成果実	_	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか								
実績	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。								
点検結果	点検を行	ったが特段の問題はなかった。								
		予算監視・効率化チームの所見								
		日本の分担額・拠出額に応じて要求額を見直し								
		日本の分担額・拠出額に応じて要求額を見直し 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	享要求における反映状況等)							
日本の		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概 拠出額に応じて要求額を見直し								
日本の		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概								